

好きです！ 南関三小

学校教育目標

「やさしく・しっかり考え・たくましい
『南関三小っ子』の育成」

《育てたい力》

協力する力 考える力 やり抜く力

感謝の思いを伝える 「ありがとうの会」 ～地域の方々と触れ合い、認められ、 支えられた素敵な時間～

1月30日（金）、2年生の子供たちが、日頃から温かく見守ってくださっている地域の皆様を招待し、「ありがとうの会」を開催しました。

2、3校時は、婦人会の皆様にご協力いただきながら、お料理作りに挑戦しました。メニューは、心までポカポカ温まる「だんご汁」と、お口に広がる甘みが嬉しい「いもきんとん」。初めて包丁を握る手つきにドキドキする場面もありましたが、地域の皆様の優しく丁寧なサポートのおかげで、協力する力や考える力を發揮し、子供たちは安心して野菜を切ることができました。お出汁のいい香りが教室いっぱいに広がる中、瞳を輝かせる子供たち。一生懸命にだんごを丸め、みんなで協力して作り上げた一品には、手作りならではの大きな達成感が詰っていました。



4校時からは、生活科の学習で野菜作りを教えてくださった福山正英先生、そして町探検で温かく迎えてくださった郵便局、交流センター、おざきパン工房、しづく屋、白うさぎの皆様をお迎えし、感謝の集いを行いました。「いつもありがとうございます」の気持ちを込めた感謝状とメダルの贈呈、そして自分たちで育てた野菜の甘みがたっぷり溶け込んだだんご汁の試食。一緒に机を囲み、美味しさを分かち合うひととき

は、南関三小ならではの穏やかで幸せな時間が流れていきました。その後、子供たちは歌と感謝の言葉を発表しました。



この「ありがとうの会」で、地域の方々と触れ合い、認められ、支えられた日々との一日は、子供たちにとって「協力する大切さ」と「感謝を伝える喜び」を再認識して、子供たちのウェルビーイングの確かな向上につながる心豊かな時間となりました。大変ありがとうございました。

お米が食卓に

～5年「稻作体験学習」～

5年生は、総合的な学習の時間を中心に稻作体験学習を通して、米作りの大変さや農業の重要性を肌で感じてきました。種まきから田植え、そして稻刈りまで、一年を通して稻の生長を見守り、学んできました。2月4日（水）、家庭科室でお米を袋に分けて、大切に育ててきたお米をいよいよ皆様の食卓に届けられる準備を進めています。お米の販売はすでに配付済みのプリントによる予約制としています。2月13日（金）学習発表会の開始前の時間に販売します。



全員合唱「ひとつのことば」

南関第三小学校では、南関町にルーツを持つ北原白秋さんの詩「ひとつのことば」に、本校支援員の木原友希先生が子供たちのことを思い浮かべながら言葉を追加し作曲された曲を、子供たちが学習発表会で参観される方々と一緒に全員合唱します。心に染み渡る言葉と、自然と歌いたくなる美しいメロディーです。右のQRコードから動画を見られますので、ご家庭でもお子さんと一緒に口ずさみ練習する時間を設けてはいかがでしょうか。

